



ニ瑞っ子

令和5年1月31日

2月号

荒川区立第二瑞光小学校

考える子 やさしい子 元気な子
じゅくりと ニコニコ いきいき

ニ瑞っ子

今、できることを！！

副校長 田中 康久

新型コロナウイルス感染症、第8波が猛威を振るっています。荒川区でも1月になり学級閉鎖が増えてきました。最近インフルエンザも流行しだすなど、学校を取り巻く状況は厳しいものがあります。改めて感染症対策をしっかり見直していかなくてはなりません。

さて、コロナ禍が長引くなか、子供たちにも様々な影響が出ているようです。2022年度版の「子どものからだと心白書」ではコロナ禍で普及したデジタル環境が子供に及ぼす影響として、視力の低下をあげています。スマホを長時間使用している人の多くは、遠くを見てもピント調節の機能が固定して戻らなくなっており、緊張だけでなくけいれんを起こしている場合もあるそうです。子供なのに老眼のような症状を呈し、眼鏡合わせが難しくなっていて、時には必要以上に強い近視用の眼鏡レンズをかけなければならないこともあるようです。

21年度の学校保健調査では、裸眼視力が1.0未満の児童の割合は12歳、13歳で過去最高で、具体的には男子が13歳で55.73%、女子は67.06%と半分以上の児童が1.0未満という驚くべき結果でした。

また、白書に原稿を寄せた専門家らは、「子供たちがスマホを長時間使用して、左右の目を内側に寄せることが、様々な心の問題に繋がる。目を寄せることで、脳の前頭葉にストレスがかかり、やる気、理性、判断などの働きに影響が出るのだ。」と述べています。目だけでなく心にまで影響が出るというのは驚きます。

さらに、影響は視力だけでなく、体力にも出ています。体力テストの結果から、今年度の実技テスト8種目の成績を点数化した合計点は、2008年の調査開始以来、過去最低になったそうです。コロナ禍による運動不足、肥満の増加、生活習慣の変化などが主な要因とみられています。今ではなくなりましたが、当初は、マスクを着けて運動することが当たり前で、運動強度も少なくなったり、相手との体の接触ができなかったりと、運動不足になりがちでした。今は少しずつ、通常の形に戻りつつありますが、やはり様々な制限は残っています。

これらにもまして、新型コロナウイルス感染症でやっかいなのは、マスクで相手の表情がきちんと見えないことです。先生は、授業でも、遊んでいるときでも、子供の表情を見ながら言葉かけをすることがほとんどです。

米国の心理学者が提唱した理論によると、人間は他者とコミュニケーションを取るとき、姿や顔などの視覚からの情報が55%、言葉遣いや声のトーンなどの聴覚からの情報が38%で相手を判断していると言われています。マスクをしていると子供の声も聞き取りにくくなります。表情もよく分かりません。その結果、子供の細やかな感情が感じにくく間違った受け取り方をしてしまったり、逆に子供にこちらの意図が正しく伝わらず混乱させてしまったりすることもあります。本当にやっかいです。早くマスクなしの生活に戻ってほしいものです。

このように、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、当たり前だと思っていたことができなくなってもう3年経ちます。まだまだ、不便なことがたくさんあります。ただ、確実に変化の兆しも見えてきています。新型コロナウイルス感染症のきちんとした理解が進み、できること、できないことが分かってきました。学校でも、感染症に正しく向き合いながら、今できることを考えています。コロナだから仕方ない、コロナだからやめておこうといったマイナス的思考ではなく、これならできる、こんな風にやればもっと楽しくなるのでは、といった考えをもちながら様々な活動を考えています。

今年度の卒業式には、3年ぶりに来賓を招待して行うことができます。新型コロナウイルス感染症は、形を変えながら今後も生活の中に残っていきそうです。それでも、子供たちが毎日笑顔で過ごせるように、子供たちが毎日学校に行くのが楽しいと言えるように、今、できることを考えて、日々取り組んでいきます。

二瑞小の特別活動

特別活動とは、学級での係活動や、始業式などの儀式的行事、たてわり班活動、クラブや委員会などの活動をいいます。

二瑞小では、たてわり班活動を学校の特色として取り組んでいます。今年度も、あいさつ当番や落ち葉掃き、枝豆やチューリップの栽培活動などを行ってきました。6年生を中心に、集団活動を通して協力して活動する姿が見られました。

3学期には、「6年生を送る会」が行われます。そこではいよいよ5年生が6年生に代わり、たてわり班のリーダーを引き継ぎます。1年間リーダーとして活躍してくれた6年生のために、5年生が中心となって、たてわり班でプレゼントを準備しています。感謝の気持ちを表し、6年生の思い出に残る会にしたいものです。学年ごとに出し物も考え、6年生への感謝を伝える機会です。今回も保護者の方は参観できませんが、ぜひご家庭で応援の声かけをお願いいたします。



保健室より

今年は新型コロナウイルス感染症に加え、インフルエンザも3年ぶりに流行しています。荒川区内の小中学校でも、インフルエンザによる学級閉鎖が相次いでいます。引き続き、丁寧な手洗い、正しいマスクの着用、換気、咳エチケットなどの感染症対策を徹底してまいりたいと思います。

保健委員会でも全校児童に感染症対策の基本を意識してもらうために、「感染症予防の合言葉～うまくきたえて～」という掲示物を作成しました。この掲示物のポイントは、あみだくじになっていて、子供たちに楽しみながら、感染症対策の基本を学び、日常生活に活かしてほしいという思いを込め、保健委員会で作成しました。また、保健委員会では固形石けんや液体石けんの補充を行っています。子供たちの健康を守るために、まずは保健委員会から率先して、感染症対策に取り組んでいけるよう指導していきます。



2月の予定

1	水	
2	木	児童集会（ユニセフ） FC東京（1・2年）
3	金	なわとび運動終
4	土	校庭利用
5	日	校庭利用
6	月	全校朝会 委員会活動⑩ 図書しおり配布開始
7	火	ユニセフ募金 新一年生保護者会 2:30～
8	水	ユニセフ募金 区研修会のため4時間授業
9	木	児童集会（お誕生日集会）
10	金	漢字検定
11	土	
12	日	校庭利用
13	月	全校朝会 クラブ⑪（三年生見学）
14	火	租税教室（6年）
15	水	幼保小中交流会
16	木	児童集会（放送委員会） お別れスポーツ大会（5・6年）
17	金	区研修会のため4時間授業
18	土	校庭利用
19	日	
20	月	全校朝会 車いすバスケット（5年）
21	火	避難訓練 学校関係者評価のため5時間授業
22	水	6年生を送る会
23	木	天皇誕生日
24	金	校内研究会のため5時間授業
25	土	土曜授業公開日 総合発表会（4年） 生活科発表会（2年） 親子活動（6年） 親子スマホ教室（6年）
26	日	校庭利用
27	月	全校朝会 クラブ⑫
28	火	校内研修会のため5時間授業

2月の生活目標
寒さに負けずに元気に過ごそう

